

記入上の注意

外務太郎

①ヘッダーに氏名を入れる

2018年度JPO派遣候補者選考試験応募用紙(和文)

②今次試験の応募用紙を使用する(古い書式は不可)

申込年月日: 2018年4月30日

1 基本事項 (選択する項目については□を塗りつぶすか「×」を記すこと。)

氏名	ふりがな がいむ たろう	性別	生年月日
	(姓) 外務 (名) 太郎	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	1985年4月2日 (2018年4月1日現在:32歳)
現住所	〒10017 866 UN Plaza, New York, NY, USA		
海外在住の場合 国内連絡先	〒100-8919 東京都千代田区霞が関 2-2-1		③日本国外の場合は国番号をつける
電話 (☑携帯 □自宅 □職場)	+1-000-000-0000		
電子メール (日本語で確実に連絡がつくもの)	taro.gaimu@xxx.jp		
語学スコア (提出する語学スコアの情報を記入する。TOEFL 又は IELTS のいずれか必須)			
必須	TOEFL (☑iBT/□PBT) スコア: 100 受験日: 2017年 5月		
	IELTS (□academic module/□general training) スコア: _____ 受験日: _____ ④本欄への記入とともに、TOEFL 又は IELTS のスコア写しを提出する(TOEFL と IELTS の両方を有している場合は両方提出も可)		
任意	<input type="checkbox"/> 英語: 国連英検特A級 (受験日: _____年 月 日)		
	<input checked="" type="checkbox"/> フランス語 試験名: DELF スコア: C1 受験日: 2015年6月5日 ⑤試験名, スコア名称に適宜英訳又は和訳をつける		
	<input checked="" type="checkbox"/> ロシア語 試験名: ТРКИ (Test of Russian as a Foreign Language) スコア: четвертый сертификационный уровень (4級) 受験日: 2015年8月1日		
配偶者の有無	JPO派遣候補者選考試験 応募歴		
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 初めて応募		
扶養家族の有無	⑥2014年度以降の試験で第二次審査まで進んだ場合は選考枠も記入する		
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 過去 3 回応募 (近の3回について記入する) 2017年度試験(追加 UNDP 枠) <input type="checkbox"/> 1次不合格 <input type="checkbox"/> 2次辞退 <input checked="" type="checkbox"/> 2次不合格 <input type="checkbox"/> 最終合格後辞退 2017年度試験(外務省枠) <input type="checkbox"/> 1次不合格 <input type="checkbox"/> 2次辞退 <input checked="" type="checkbox"/> 2次不合格 <input type="checkbox"/> 最終合格後辞退 2016年度試験(UNDP 枠) <input type="checkbox"/> 1次不合格 <input type="checkbox"/> 2次辞退 <input checked="" type="checkbox"/> 2次不合格 <input type="checkbox"/> 最終合格後辞退		
学士号, 修士号, 博士号の取得状況, 奨学金受給歴 ※該当する枠に記入する。 ※複数の学位を有している等で枠が足りない場合には適宜追加して記入する。			
学士	学校名	〇〇〇大学(日本)	<input checked="" type="checkbox"/> 取得(XXXX年XX月)または <input type="checkbox"/> 取得見込( 年 月)
	学位名称	経済学士	
	専門分野及び学位論文のテーマ	⑦特に修士以上の専攻内容は詳しく記入する	
修士	学校名	×××大学(日本)	<input checked="" type="checkbox"/> 取得(XXXX年XX月)または <input type="checkbox"/> 取得見込( 年 月)
	学位名称	開発経済学修士	
	専門分野及び学位論文のテーマ		
修士	学校名	University of ◇◇◇ (米国)	<input checked="" type="checkbox"/> 取得(XXXX年XX月)または <input type="checkbox"/> 取得見込( 年 月)
	学位名称	M.A. in International Relations	
	専門分野及び学位論文のテーマ	⑧修士号を複数取得している場合には枠を追加する	

博士	学校名	<input type="checkbox"/> 取得(      年 月)または
	学位名称	<input type="checkbox"/> 取得日(      年 月)
	専門分野及び学位論文のテーマ	⑨博士課程に在籍歴がない場合は空欄とする
奨学金 受給歴	(奨学金名称, 助成機関名称及び受給期間を記入する) 全額給付奨学金「(奨学金名称)」, ○○財団, 2013年9月~2015年4月	

[改ページする]

2 赴任に関する希望

⑩国連における [hardship, non-family duty stations](#) の定めについては国際  
人事委員会 (ICSC) のウェブサイトをよくお読みください。

希望する国際機関、職種等

※ 希望が複数ある場合には、枠を追加し、希望する順番に記入する  
※ 国際機関人事センターHPに掲載しているポストは例示であり、実際の配属はこの限りではない

1	派遣先として希望する国際機関 (例) UNDP	希望する職種 (例) ガバナンス	希望する勤務地・地域 (例) ガバナンス分野でハード シップ A~C のフィールド事務 所であればどこでも可。特に 仏語圏アフリカ地域の国事務 所を希望。
	希望する担当業務 (例) 民主的統治に関するプログラム担当官。 (例) プログラム実施, プロポーザル作成, 予算確保, モニタリング等。		
2	派遣先として希望する国際機関 (例) UNHCR	希望する職種 (例) プロテクション, 難民認定 (RSD), Resettlement	希望する勤務地・地域 (例) 東南アジア地域
	希望する担当業務 (例) 難民保護に関する業務全般。東南アジア地域であれば上記のいずれの職種でも赴任希望。		
3	派遣先として希望する国際機関 (例) 国連事務局	希望する職種 (例) 政務	希望する勤務地・地域 (例) 本部 (NY またはジュネーブ)
	希望する担当業務 (例) PKO 局 (DPKO), 軍縮部 (ODA) 等の本部部局における軍縮関係業務。		

赴任可能時期: 2019年1月以降

(注: 2018年度試験の合格者は、原則として2019年3月末日までに赴任が必要。)

勤務地に関する制約, 赴任が困難である国・地域 あり なし

(例) 育児中であることから, family duty station で, かつ, 国連のハードシップカテゴリーが A~C, H のポ  
ストのみ赴任希望。

(例) 定期的に精密検査が必要であることから, JPO 任期中・任期後とも医療施設へのアクセスが容易な勤務  
地のみ可。

⑫東京, ジュネーブ, ニューヨークの中から選択する  
(これ以外の都市では実施されない)

外務省枠第二次審査 試験地に関する希望

試験地  
(東京, ジュネーブ, ニューヨーク)

第一希望: ニューヨーク  
第二希望(あれば): 東京  
第三希望(あれば):

私は, 外務省が上記希望と異なる試験地を指定する場合があります。外務省が指  
定する試験地及び試験日時にて受験できない場合, 代替措置が承っています。

⑬了承する場合にはチェックを入れる

[改ページする]

⑪-1 例えばニューヨーク勤務の JPO ポストであっても, 国際機関職員として, ハードシップの高い国・地域への出張が求められる場合がある。業務が困難である国・地域があれば, 正確に記入すること

⑪-2 JPO は任期中, 国際機関の正規ポストを目指して積極的に応募活動を行うことが求められる。外務省国際機関人事センター及び国際機関において, JPO の応募活動を支援する上で必要となるため, JPO 任期中の応募活動に制約がある場合は, 正確に記入すること

⑭ 経験あり・なしを必ず選択する

3 学歴(大学以上)及び職歴

1 青年海外協力隊(JOCV)	<input checked="" type="checkbox"/> 勤務経験あり <input type="checkbox"/> 勤務経験なし
2 国連ボランティア(UNV)	
(1)外務省平和構築人材事業(2015年度以降:平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業)による UNV	<input type="checkbox"/> 勤務経験あり <input checked="" type="checkbox"/> 勤務経験なし
(2)上記以外による UNV	<input type="checkbox"/> 勤務経験あり <input checked="" type="checkbox"/> 勤務経験なし

※1 大学以上の学歴及び職歴について、学歴は本項の「1(学歴)」, 職歴は「2(職歴)」を使って、新しいものから全て順

⑮ 応募者の経歴にあわせて、学歴・職歴欄の並び替え・追加を行う

(以下の並び順は一例なので、必要に応じ並び替える)。現在の勤務年数を記し、任期終了予定時期も記す

※2 得しなかった留学籍は、学歴欄に記載せず、別項「4 その他」の(1)海外滞在経験に記載する  
 ※3 青年海外協力隊及び国連ボランティアの職歴は、③の「国際機関でのインターン及び JOCV, UNV 以外のボランティア」及び(3)に記載する  
 ※4 ⑤で記入する

⑯ 現職については、任期終了予定時期を記入する。雇用期間の定めがない場合は「定めなし」と記入する

2 (職歴)	①会社・組織名 XXX 社 (勤務国: 米国)	期 間 2015年10月 ~ 2018年12月 勤務年数 (2年6か月)	②会社・組織の活動概要
	②ポスト, 部署名 調査部 ③レベル, 肩書き, 契約形態 ジュニア・アナリスト (常勤) ⑤具体的な職務内容及び業績 ※これに基づき、外務省として応募者が自らの希望する国際機関・職種に適しているか判断する。簡潔かつ具体的に記入する		

⑰ 現職については、JPO 派遣候補者選考試験応募時の勤務年数を記入する

⑱ 常勤, 非常勤, 正社員, 総合職, 自営業等, 事情に合わせて記入する

1 (学歴)	学校名 University of ◇◇◇ (所在国: 米国)	就学期間 XXXX年XX月 ~ XXXX年XX月	学位の別(該当するものを☑で表す) <input type="checkbox"/> 学士号 <input checked="" type="checkbox"/> 修士号 <input type="checkbox"/> 博士号
-----------	---------------------------------------	-----------------------------------	--

2 (職歴)	①会社・組織名 青年海外協力隊 (勤務国: ○○)	期 間 XXXX年XX月 ~ XXXX年XX月 勤務年数 (X年XXか月)	④会社・組織の活動概要
	②ポスト, 部署名 コミュニティ開発 ③レベル, 肩書き, 契約形態		

⑤具体的な職務内容及び業績 ※これに基づき、外務省として応募者が自らの希望する国際機関・職種に適しているか判断する。簡潔かつ具体的に記入する

1 (学歴)	学校名 ×××大学 (所在国: 日本)	就学期間 XXXX年XX月 ~ XXXX年XX月	学位の別(該当するものを☑で表す) <input type="checkbox"/> 学士号 <input checked="" type="checkbox"/> 修士号 <input type="checkbox"/> 博士号
-----------	---------------------------	-----------------------------------	--

<p>1 (学 歴)</p>	<p>学校名 ○○○大学 (所在国:日本)</p>	<p>就学期間 XXXX年XX月 ~ XXXX年XX月</p>	<p>学位の別(該当するものを☑で表す) ☑学士号    □修士号    □博士号</p>
------------------------	-----------------------------------	---	---

【改ページする】

4 その他

<b>(1)海外滞在経験</b>		
※「学歴及び職歴」欄に記入した事項以外で、在住、留学、出張等の海外滞在経験があれば、記入する ※出張等、件数が多い場合には、主なものを選択して記入する。枠は適宜追加して記入する ※枠の幅が足りない場合には適宜広げて記入する ※「具体的滞在理由」については、留学先の学校名、出張案件等を簡潔に記入する		
<input type="checkbox"/> 在住 <input type="checkbox"/> 留学 <input type="checkbox"/> 出張 <input type="checkbox"/> その他		
期間	滞在国内・都市名	具体的滞在理由
年月～年月 (計 年 か月)		
<input type="checkbox"/> 在住 <input type="checkbox"/> 留学 <input type="checkbox"/> 出張 <input type="checkbox"/> その他		
期間	滞在国内・都市名	具体的滞在理由
年月～年月 (計 年 か月)		

<b>(2)国際機関でのインターン経験</b>			
※枠は適宜追加して記入する。また、枠の幅が足りない場合には適宜広げて記入する			
<input type="checkbox"/> 有給 <input type="checkbox"/> 無給			
期間	滞在国内・都市名	所属先組織名	担当業務
年月～年月 (計 年 か月)			
<input type="checkbox"/> 有給 <input type="checkbox"/> 無給			
期間	滞在国内・都市名	所属先組織名	担当業務
年月～年月 (計 年 か月)			

<b>(3)ボランティア経験</b>			
※派遣先として希望する国際機関や希望職種と関係のある経験をしたもののみ記入する ※枠は適宜追加して記入する。また、枠の幅が足りない場合には適宜広げて記入する ※JOCV 及び UNV の経験は本欄ではなく、「3 学歴(大学以上)及び職歴」に記入する			
<input type="checkbox"/> 有給 <input type="checkbox"/> 無給			
期間	滞在国内・都市名	所属先組織名	担当業務
年月～年月 (計 年 か月)			
<input type="checkbox"/> 有給 <input type="checkbox"/> 無給			
期間	滞在国内・都市名	所属先組織名	担当業務
年月～年月 (計 年 か月)			

<b>(4)各種資格</b>	
※すでに取得している資格のうち、国際機関での業務において有益と考えるものを記入する	
資格名	取得時期
	年 月
	年 月

[改ページする]

## 5 国際機関を志望する理由(2000字以内, 1枚に収まるよう記入)

※これまでの経験(学生時代の勉強や活動, 職務経験等)を国際機関での勤務にどのように活かすことができるかについても含めて記入する

⑱2000字以内で, かつ1枚に収まるよう入力する。なお, 空白や改行を設ける場合, 空白はカウント不要(1字に数えない)。  
入力した部分を反転させると, Word 左下のステータスバーに選択範囲の文字数が表示される(〇〇/〇〇の左側)。

⑳応募用紙の書式設定(10.5pt)に従い, 空白を設けず入力した場合, 2000字はここまで

6 私は、応募用紙に記載した事項が正確であることを証明します。

日付 2018年4月30日 自署 外務太郎

①必ず日付及び自署を入れる(日付及び自署のない応募は無効とする)

■以下のアンケートに必ず回答ください。

質問1 JPO派遣制度を初めて知ったきっかけは何ですか。該当するものを以下のうちから一つだけ回答してください。

1

(「6 その他」を選択した場合、具体的に: )

質問2 JPO試験を受けるに当たり、あなたが利用したものを以下のうちから全て回答してください。

1 4 5 6

(「6 その他」を選択した場合、具体的に: 書籍『〇〇〇』。)

②6の場合は具体的に記す

- 1 日本国内での外務省主催の説明会・ブース出展
- 2 日本国外での外務省（日本政府代表部・大使館等）による説明会・ブース出展
- 3 日本国連機関合同就職説明会（アウトリーチ・ミッション）
- 4 外務省国際機関人事センターのホームページ
- 5 外務省国際機関人事センターのFacebook 又は Twitter
- 6 その他